

副専攻名 社会学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、社会学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論を必修とし、社会学の研究法の科目群、社会学の成果を学ぶ科目群のそれぞれから、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・現代社会に対する高い関心をもつようになる。
- ・社会学の思考法について、体系性をもちながら、理解する。
- ・社会学のデータ収集と分析の技法について、基礎的知識をもつ。
- ・各領域の社会学の成果について知り、説明できるようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
21102	社会学概論A	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科学としての社会学の特徴を理解する。 ・社会学の基礎理論を学ぶ。 ・社会学の対象と方法について、基礎的知識を持つ。 ・社会学の今日的課題に関心を持つ。 	1			*	*
41101	社会学概論B	<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の目的と歴史、社会調査の倫理について学ぶ。 ・さまざまな社会調査の種類とそれぞれの方法が持つ長所と問題点を理解する。 ・質問紙調査を中心に、社会調査の設計から実施、収集したデータの分析までの流れを学ぶ。 ・自分の目的にあった種類の社会調査を選択し、調査の企画・計画を立案できるようになる。 	1	*	*		
41102	社会統計学1	<ul style="list-style-type: none"> ・記述統計の技法を学ぶ。 ・推測統計の考え方を学ぶ。 ・社会調査データの基礎的な分析法を身につける。 	2~4	*	*		
41103	社会統計学2	<ul style="list-style-type: none"> ・多変量解析(特に重回帰分析)の方法を学ぶ。 ・変数間の関連性の指標について理解する。 ・社会調査データの分析法を身につける。 	2~4			*	*
41104	社会学調査法	<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく方法を理解する。 ・サンプリングの諸方法、質問文・調査票の作り方、調査の実施方法を理解する。 	2~4			*	*
41137	経験社会学1	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会における格差と不平等についてデータに基づいて理解できるようになる。 ・公的統計を取り扱う方法を身につける。 	2,3				
41138	経験社会学2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会における格差と不平等について、働き方の格差という視点からデータに基づいて理解できるようになる。 ・社会学で用いられる統計データやフィールドワーク論文の基本的な読み解き方を身につける。 	2,3				
41135	理論社会学1	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学理論の基礎概念を理解する。 ・古典的 sociology 理論の形成から、現代的 sociology 理論の展開までを俯瞰的に理解する。 	2,3	*			

副専攻名 社会学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、社会学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論を必修とし、社会学の研究方法の科目群、社会学の成果を学ぶ科目群のそれぞれから、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・現代社会に対する高い関心をもつようになる。
- ・社会学の思考法について、体系性をもちながら、理解する。
- ・社会学のデータ収集と分析の技法について、基礎的知識をもつ。
- ・各領域の社会学の成果について知り、説明できるようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41136	理論社会学2	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学理論の基礎概念を理解する。 ・古典的 sociology 理論の形成から、現代的 sociology 理論の展開までを俯瞰的に理解する。 ・欧米圏を含めた理論社会学の成果を学ぶ。 	2,3		*		
41109	応用社会学	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎研究と応用研究の区別を理解する。 ・基礎研究を応用して、社会現象の予測に役立てる方法を学ぶ。 ・応用社会学的観点に立って、社会問題について議論を行えるようになる。 	2~4	*	*		
41110	社会理論	<ul style="list-style-type: none"> ・社会現象の因果的説明の方法を学ぶ。 ・社会理論の文献を読めるようになる。 ・社会理論における諸問題に関する議論が行えるようになる。 	2~4	*	*		
41158	現代社会学D I	<ul style="list-style-type: none"> ・規範的社会理論を構想するうえで不可欠な自由、平等、公正といった理念について理解を深める。 ・福祉国家の歴史的発展を学ぶことを通じて、福祉国家の理念と基本的な価値について理解 	2~4	*			
41159	現代社会学D II	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的制度としての福祉国家の現状について分析し、その諸問題を構造的に理解する。 ・現代の福祉国家が抱えている諸問題を、構造的に理解する。 ・今後の福祉国家のあるべき姿について、自分なりに考察を展開する。 	2~4		*		
41156	現代社会学C I	<ul style="list-style-type: none"> ・公共性の概念について理解を深める。 ・公正な社会とは何かについて考える。 ・システム理論の系譜について学び、社会をシステムとして捉える意味について理解する。 ・社会計画の理念と思想について理解する。 	2~4	*			
41157	現代社会学C II	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における社会計画の歴史を概観しながら、社会計画のさまざまな対象と方法について理解する。 ・現代社会における計画の立案・実施・評価という社会計画の実際についての基本的知識を身につける。 ・社会計画の限界や今日の問題についての認識を深める。 	2~4		*		

副専攻名 社会学**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

すべての学生を対象として、社会学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論を必修とし、社会学の研究法の科目群、社会学の成果を学ぶ科目群のそれぞれから、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・現代社会に対する高い関心をもつようになる。
- ・社会学の思考法について、体系性をもちながら、理解する。
- ・社会学のデータ収集と分析の技法について、基礎的知識をもつ。
- ・各領域の社会学の成果について知り、説明できるようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41117	理論社会学演習B	・社会学の理論的観点から、社会現象を説明するスキルを獲得する。 ・社会学の理論的諸問題について、協働して、文献を読み、討論することができるようになる。 ・社会学理論の可能性と限界について、明晰な思考ができるようになる。	2~4			*	*